

つながりを大切にし、  
かかわりを深める児童生徒の育成



# ユネスコスクール便り

№131

令和5年12月18日  
大牟田市I社スクール  
担当者通信

## 各校で研究会や拡大校内研が開催されました



2学期は田隈中学校のICT活用や吉野小学校のESD、白川小学校の組織運営と、様々な研究発表会や拡大校内研修会が開催され、各学校の研究の成果が市内外に発信されました。

### 自ら考え、表現できる生徒を育成する学習指導 田隈中学校

田隈中学校では、「興味を持たせる」「利便性を図る」「主体的に取り組む」「考えを共有する」「理解を深める」という5つの視点から、授業におけるICTの活用について研究を進めてきました。研究発表当日には、国語、社会、数学、理科、英語、道徳と、様々な教科でiPadを活用した授業が展開され、ICT活用がもたらす授業改善の可能性を明確に示していただきました。



ICTを活用した授業

### 持続可能な社会づくりについて自分の考えをもち、行動する 子供が育つ生活科・総合的な学習の時間 吉野小学校

吉野小学校では、子供の思考が連続・発展するように、3つの体験・試行活動（「体験的な働きかけ」「試行的な働きかけ」「統合的な働きかけ」）を単元に位置づけることで、自他の学びを再構成し、課題解決に迫っていくことを目指して、研究を進めて参りました。5年生の公開授業「桜プロジェクト」では、学校や地域に植樹してきた桜の今後の成長を願って、今年度は専門家や絆プロジェクトの方と一緒に桜の堆肥作りに取り組みました。土の温度や成分等、こだわりを持って課題を追究する姿が見られました。



よりよい堆肥作りを目指す  
吉野小学校の子ども達

### 支え合い、学び合い、高め合いのできる子どもの育成 (県重点課題Ⅲ 学校の教育課題に資する研究の充実) 白川小学校

白川小学校では、昨年度より県の重点課題研究の指定を受けており、学校の重点目標達成のためにどのように組織的に取り組むべきか、研究を進めています。研究推進の柱の一つである主題研究では、指導案に代わる「授業づくりシート」を活用し、考えを可視化して対話の中で再構成する授業づくりに取り組んでいます。11月の中間報告会では、主体的に考えを伝え合いながら、学びを深めていく子供の姿が見られました。



対話を通して考えを深める  
白川小学校の子ども達

教員の力量を高め、児童・生徒の「持続可能な社会の一員」としての資質能力を育てていくことにつながる、貴重な実践をありがとうございました。